

受入先	南九州市商工会
役職	
隊員氏名	二宮愛
着任日	令和7年5月1日

活動月	令和8年2月(着任10カ月目)
主な活動	イベント手伝い、研修、企画

## 1. 二日市参加

初の二日市に参加をさせていただきました。1年前、まさか実行している側の組織団体にいるとは夢にも思っていませんでした。移住してきたばかりで、大きなお祭りがあると鹿児島市内から来たことがあったのですが、1日目が雨、2日目が晴れだったため、道や駐車場が大渋滞をしていた記憶があります。

今年はお天気も良く、お客さまもたくさん来られていて、とても盛り上がっていました。ラジオの生放送や、お餅配りや、茅の輪くぐり、端々に楽しめる仕掛けが準備されており、皆様とても楽しんでおられました。

個人的にまわっていて感じたのは、工芸品(陶芸・木工作品等)を求めて来られている方、植木販売をイメージして来られている方も多かった印象で、ある意味この特色だと感じました。川辺に散らばっている素敵なお店が、この1日で全て体験できるのは、遠くから来られる方もとても嬉しいことだと思います。普段、いくつもの川辺のお店を知ったり、何度もまわったりする機会は、遠方の方は中々難しいと思います。このお祭りをきっかけに、そのお店を好きになってもらい、また来たいとお店を順々にまわって行ってもらえるのだと思います。



## 2. まちゼミ

川辺の賀詞交換会に出た際に、「まちゼミ」を実施されている方をご紹介いただきました。偶然にも1年程前に、さつま町でも「まちゼミ」のご紹介をいただいていた。他にも、川辺で実施したいという声があり、商工会の方のご協力もいただき、小さく始めることにしました。

一人では何もできないので、一緒に動いて下さる方を探し、今までに活動をご一緒してくださっていた方にお声がけし、参加いただきました。協力隊の鈴木さん、田尻さんの協力もあり、場づくりと人集めをご協力いただきました。

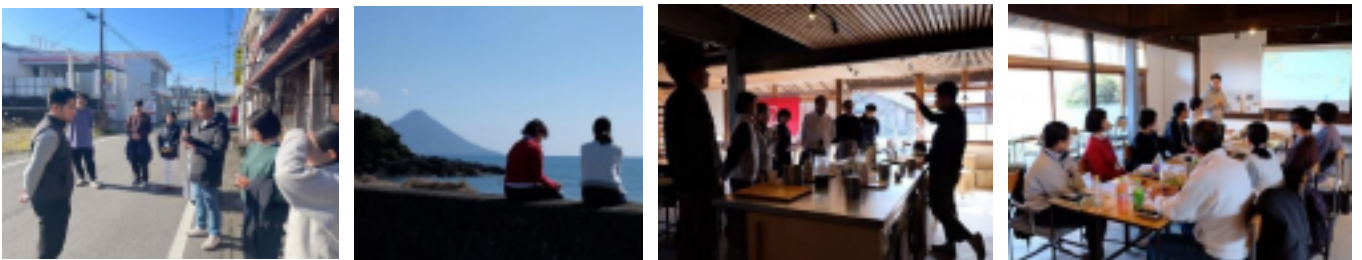
タノカミキッチンをお借りし、まずは、まちゼミとはどんなものかの説明を、まちゼミ実行委員長の武田さんに講師に来ていただき、その後にご参加いただいた事業所の皆様の想いの共有の時間をつくり、それぞれが普段何を想い、どんなことをしていきたいと思っているかのお話をいただきました。皆様の熱い想いに、じんわりと熱がこもっていくのを感じましたが、この熱が消えないように継続していくために、忙しい皆様に集まっていただくことになるので、少しでも良い時間を過ごしていただけるよう、私のできることを実施していきたいと思えます。



## 3. 協力隊研修合宿

地域で生きる未来設計としての2泊3日の合宿に参加しました。日置、奄美、種子島から参加者があり、他の地域の活動や、新しい人の繋がりができました。私は、3日目に別の研修が被っており、1泊2日と短い時間だったのですが、「他己紹介」や、相手の人生の話を聞く「問い」を準備してくださっていたので、この短時間でかなり深いところのお話までできました。

改めて、南九州市の考えるお茶の現状や状況の話なども聞けたり、自身の指針を考えるための MVV シートの作成や、会計のこと、理想の未来ワーク、ネクストアクションのための企画など、活動において必要な情報を色々と頂き、とても良い時間となりました。



#### 4. 西穎娃駅駅弁イベント参加

国際交流で西穎娃駅に 30 名ほどの人が来ることとあわせて、今回の駅弁イベントが企画されていたのですが、穎娃・川辺・知覧の事業者さまにご協力をいただき、駅弁を統一価格 1,000 円で作成いただきました。

開始から1時間も経たないうちに完売してしまう盛況振りだったのですが、普段の小野寺さんの丁寧なコミュニケーションがこのイベントの成功に繋がっていると感じ、学びになりました。共同開催していた、チャルカレーさんやピーカンベーグルさんとも関りができて有難かったです。

#### 5. 中間人材セミナー

「つなぐ」という言葉がひっかかり、参加していた中間人材セミナーの最終回でした。私のこれからを考えるにあたり、とても重要な研修でした。当日は、自身のもやもやしていることを壁打ちして3人で聞いてもらい、自身が何につまずいているのか、どんな解決策があるのかなどを他者に聞いてもらうことで、自分が気づかされるワークがありました。

また、最後には、「中間人材を一文字の漢字で表す」というワークで、ほとんど被ることなく、皆さんが一文字を出していたのですが、同じ情報を受け取っても、本当に感じていることは一人一人違っており、改めて「分かり合えなさを分かる」ということの大切さを学びました。



#### 6. 地域プロデューサー実践講座発表

最終発表の日が出席できなかったため、事前にオンラインで時間をとっていただき、10名ほどの方に発表を聞いてもらい、「これからやっていきたいこと」のお話をさせていただきました。温かいコメントをいただき、自信が無かった部分が前向きに捉えられたことと、自分の熱を帯びている部分が、この研修を通して、何なのか、自分と何度も向き合うことができたので、大分深堀されました。

応援してくれるという場が、とても勇気づけられますし、行動する1歩にもなりました。また、場づくりに対する配慮が要所要所に散りばめられており、場づくりの勉強になりました。

## 7. 日置市視察

小野寺さんの繋がりで、以前に喫茶にも来てくれた協力隊の方と、先日の未来設計の研修で一緒になったご縁もあり、日置市の「日日 nova」をご案内いただきました。

廃校を活用している日日 nova は、色々な空間が創られており、ワーキングスペース、会議スペース、設計事務所が入っていたり、お母さんの子育てスペースがあったり、子ども達が遊ぶ場所があったり、図書室があったり、保健室カフェもあり地域の薬屋さんが、体調相談をしながらお茶を飲めるスペースがあったりと、おもしろい設計になっていました。建物は、炭化コルクも使われており、やぎを飼っていたりと、環境にも配慮がされた創りになっていました。

VR 空間で文化財を残していくことや、地域電子通貨などで活動されていたため、VR 体験などもさせていただきました。私はアナログ派だったのですが、何事も体験してみないと実際の所はわからないと改めて毛嫌いしないようにと心を改めました。

他に参考になったのは、この日日 nova を立ち上げられた LR,inc の森満さんという方が、副業が禁止だった頃に、お金をもらえないので、「あなたの持っているものと交換しましょう」と手淹れのコーヒーを 1 杯物々交換のようなことを実施されていたそうなのですが、「それがとても豊かなものとなった」とお話されていたのが印象的でした。

また、地域の方の関りしろを残しておくということを意識されており、花壇が放置されていたら、地域の方がお花を植えに来てくれる人ができたり、何かお手伝いできますかという部分を意図的につくっているのが、他の研修の場づくりでも聞いていたので、いいなと感じました。

